



上天草市立上天草総合病院

## 地域医療連携通信



上天草総合病院理念  
信頼される地域医療  
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール : [kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp](mailto:kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp)

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠



## 防災と災害医療についての話

救急医療委員会委員長  
日本DMAT隊員

城野 英利

先日11月8日、上天草市総合防災訓練が大矢野町総合グラウンドで行われました。今回は、大雨による土砂災害を想定しての訓練でした。私たち上天草総合病院も救護所の運営訓練という形で参加いたしました。

そこで今回は、防災と災害医療について少しお話をさせていただきます。

まず、**防災**とは・・・災害を未然に防ぐために行われる取り組みの事です。災害を未然に防ぐ被害抑止のみを指す場合もあれば、被害の拡大を防ぐ行為や、被災からの復旧活動まで含める場合もあります。では、災害といわれて皆さんは何を思い浮かべますか？

今年の猛烈台風の上陸は記憶に新しいと思います。大雨や暴風・高潮といった気象災害は、代表的自然災害となります。この他にも地震・津波・火山の噴火などもありますね。また、自然災害(天災)以外には、列車事故や航空機事故、大規模火災、原子力事故、大規模テロ行為などの人為的な災害があります。

こういった災害の中でも多数傷病者が発生するような場合には、通常の医療システムでは、対応困難となることが過去に経験されました。6,434名という未曾有の死者を出した1995年1月17日の阪神・淡路大震災を契機に、**災害医療**の研究・実践が始まり、厚生省(当時)を中心に災害医療体制の充実強化が進められてきました。この中には、広域災害救急医療情報システムの設置、災害拠点病院の設置、DMAT(災害派遣医療チーム)の整備などこの20年で新しく導入されたものが含まれています。

ここでは、災害医療の特殊性についてご説明します。救急医療と対比されて語られることが多いので、まずは**救急医療と災害医療の違い**について記載します。

**救急医療**の目的は、一人の傷病者に対して最大限の人的医療資源及び医療施設、医薬品などの物的医療資源を投入して救命と後遺症軽減を達成することです。傷病者に対し、現場における最善の処置を行いつつ、迅速に最適な医療機関に搬送し、可能な限り傷病者本人や家族の要望に沿って医療行為が行われます。

一方で、**災害医療**の目的は、最大多数の傷病者に対して救命と後遺症軽減を達成することです。対応能力に限られた状況の中では、処置、搬送、医療機関の選定に優先順位が存在し、この優先順位をつける行為を**トリアージ**と言います。多数の傷病者はトリアージによって区分され、より救命治療効果があると考えられる傷病者に、処置、搬送、医療機関の選定等の資源が優先して投入されます。

このため、軽傷の傷病者や救命困難と判断された傷病者は、救急医療では受けられた診療が災害医療では受けられない場合があります。災害の種類によっては医療機関の設備やそのスタッフも被災していることがあられるでしょうし、電気・水道といったライフラインが破壊されると病院機能はかなり制限を受けることも想定されます。

災害医療は急激に増大した医療需要と医療供給の低下という環境の中で、限られた医療資源を有効に使い一人でも多くの命を救うための医療です。決して単に救急医療の規模が大きくなったものが災害医療ではなく、救急医療と災害医療の質は全く異なるものなのであることをお分かりいただけましたでしょうか。

災害を予測し、被害を想定することは困難です。だからこそ、災害時に自分や家族を守るためには、地域ぐるみで防災対策を行い、備えることが必要ですね。

# 龍ヶ岳町総合文化祭を終えて

互助会長 福田 浩喜

去る11月1日、龍ヶ岳地区と当院、看護学校による合同の文化祭が、龍ヶ岳体育館にて開催されました。



小屋川内獅子舞

例年は病院と看護学校のみで開いていた文化祭ですが、本年度は第57回熊本県芸術文化祭参加事業として当院も参加させていただきました。日頃は病院職員と患者様という立場から、楽しく交流



上天草総合病院 三線クラブの演奏

する機会もなかなか取れない中、こうして地域の皆様と文化交流ができ、また楽しく歌い踊り、心から笑顔になれた事をたいへん嬉しく思いました。更に、本年度は上天草市芸術文化祭のオープニングセレモニーも当会場で行われることに、龍ヶ岳町と当院の両スタッフも準備段階から大いに盛り上がり、そこでもお互いの交流を持つことができました。

文化祭当日は、約400名の御来場で大いに盛り上がり、また、多くの作品展示と舞台発表に、皆様の日々の精進を深く感じることができました。特に小屋河内獅子舞の見事な舞は、まさに龍ヶ岳の文化伝承の賜物だと感動するばかりでした。



上天草看護専門学校1年生 ダンス

文化祭終了後、来場者の方の「ああ、今日は一日楽しかった」との言葉が聞こえた時、準備の苦労もあったけど、開催できて良かったと心から実感することができました。

スタッフの皆様、お疲れ様でした!

# 秋の尺八・箏コンサートを開催しました

薬剤科主任 谷川 之朗

10月31日(土)病院の1Fロビーで尺八、箏のコンサートが開かれました。尺八の奏者は安田知博さんで、箏は田碓容子さんでした。安田さんは先天性の視覚障害の方ですが、10歳から尺八に取り組み全国邦楽コンクール優秀賞2回などと素晴らしい経歴のお持ちの方です。

最初の曲は正月には必ず誰もが聞く「春の海」から始まり「風の歌」等々、話も大変お上手で水戸黄門の主題歌の時には大盛り上がりでした。観客も100人以上とロビー一杯で、皆さん秋のコンサートを楽しんでいらっしゃいました。



# 第20回熊本県国保地域医療学会に参加して

外来看護師 尾上 令子

平成27年10月31日（土）、第20回熊本県国保地域医療学会が熊本テルサで開催されました。学会のメインテーマ「地域における医療と保険・介護・福祉の連携をめざして」のもと、県内各地15の病院・施設より26題の演題が発表され当院からは4題発表しました。

今回私は糖尿病透析予防チームより「糖尿病透析予防指導の取り組み（減塩編）」と題し発表させていただきました。療養指導の際、随時尿からの推定食塩摂取量の値をもとに繰り返し減塩指導を行っていますが、指導の効果が実際の食行動につながっているのか、どのような食習慣と食塩摂取量が関係しているのかを知りたく調査しました。意見がまとまらず焦りや不安があったり、言いたいことを文章に表せなかったりと大変でしたが、無事に発表することができました。この研究

を今後の療養指導に活かしていきたいと思えます。

今回、大きな舞台での発表はとても緊張しましたが、貴重な経験をさせて頂き感謝いたします。



## 当院からの演題発表

- ◇ 紅斑が出現する前に疑った日本紅斑熱の1例  
内科 和田 正文
- ◇ 極初期にSFTS（重症熱性血小板減少症候群）を疑い、確定診断・治癒に至った1例  
内科 和田 正文
- ◇ 糖尿病透析予防指導の取り組み（減塩編）  
糖尿病透析予防チーム 尾上 令子
- ◇ 白内障術後の点眼確立に向けて  
4病棟 久保田 理恵

## 研修会・勉強会の行事予定表

12月2日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「認知症とせん妄をアセスメントする」 講師；上野 優実氏 (横浜市立みなと赤十字病院 認知症看護認定看護師)	17:40～ 当院6階講堂
12月8日（火）	マザークラス おっぱいマッサージ・妊娠経過・母児同室について	13:30～ 当院6階講堂
12月18日（金）	心臓リハビリテーション勉強会 「動脈硬化について」 副院長兼循環器内科部長 脇田 富雄	13:30～ 当院6階講堂
12月25日（金）	がんサロン アクアマリン	13:30～ 当院6階講堂

## 年末年始の外来診療について

12月29日から1月3日まで外来休診となります。ただし、12月30日、1月2日は下記の通り外来診療を行います。

12月30日（水） 内科、外科、循環器科、小児科、眼科、整形外科、産婦人科、歯科口腔外科、リハビリ

1月2日（土） 内科、外科(予約のみ)、小児科、リハビリ

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122（代表）』までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

○しばらくしのぎ易い日が続いていたが、この頃、やっぱり寒くなってきた。夜明けが遅くなり、気分も沈み込みそうだが、冬の夜を飾るイルミネーションのように、その状況に応じて、明るく楽しい気持ちで過ごしたいものだ。冬至を過ぎればまた、昼間の時間が延び、春へとつながるのだから。（福田）

○年賀状を書く時期となった。まだ、時間があると後回しにしているといつの間にか年末にバタバタと書く羽目になる。今年は、少し余裕を持って今から始めようかと思う。（森口）

# 12月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 〔代謝内科 消化器内科 呼吸器内科〕	坂本 興美 和田 正文 石塚 俊紀 熊大代謝内科	和田 正文 谷口 純一 応援医師	樋口 定信 坂本 興美 石塚 俊紀	樋口 定信 和田 正文 石塚 俊紀 守田 雄太郎	坂本 興美 中本 弘作 応援医師	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は（3、6、9、12月）に行います。						
小児科	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時～】 久米慎一郎 （岩橋 頌二）	藤松 晃一	18日(金)
※毎週木曜日（予約制）は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	4日(金)
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸 國友 耕太郎	福田 誠 城野 英利	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時～4時30分まで受付けます。						

教良木診療所 応援	樋口 定信	坂本 興美	応援	応援	石塚 俊紀 （午前・午後）
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 （午前）				

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回（第2、第4水曜日）の午後2時より診療を行います。（予約制）

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。

※内科は木の午後5時～午後6時まで診療を行います。